

営 農 情 報

令和5年6月9日発行

第17号

こまめな水管理で初期生育促進に努めましょう。

1 生育状況(6月1日現在)

生育は平年並に推移しています。

表1) 生育状況(ななつぼし 空知農業改良普及センター本所調査)

	活着期	遅速	6月1日		
			草丈(cm)	葉数(枚)	莖数(本/m ²)
本年	5月26日	+1	20.0	5.1	109
平年	5月27日	-	18.7	4.7	97

※美唄市、岩見沢市、月形町6カ所面積加重平均値

2 活着後の水管理

分けつ発生に適温25℃以上(最低13℃)を確保できるよう、好天の日は3~4cmの浅水管理を行いましょう。ただし、極端な低温や風の強い荒天時にはやや深水とします。圃場に高低差が生じ、水深の深い部分に移植された苗は生育が劣るため、苗が水没することがないように水位をこまめに調節してください。

入水はかんがい水温と水田水温の差が小さい時間帯(夜間~早朝)に行います。

3 ワキ(土壌還元)対策

ワキの発生程度、分けつの発生や根の状態を確認し、「水の入れ替え」や「中干し」等の対策を行いましょう。中干しは、幼穂形成期前の気温が高く天候の良い期間を週間天気予報等で確認して行い、土壌に酸素を供給して根の活性を高めめます。ただし、低温が予想される場合や生育が極端に遅れている場合は中干しを行わずに水の入れ替え程度にとどめましょう。

中干し効果を高めるために、溝切り(20~30畦ごと)を行いましょう。

表2) ワキ発生程度とその対策

区分	ワキの発生程度	管理のポイント
軽	「ブクブク」という程度 または白根が30%以上ある	・暗渠排水口の解放 ・水の入れ替え
中~強	「ジュージュー」とワキ、強い異臭 がする。又は赤い根が70%以上の場 合	・好天日に落水・溝切り ・連続高温日に中干し、中干し期間 は5日を限度とする。

J A み ね の ぶ 営 農 推 進 協 議 会

TEL0126-67-2334 FAX0126-67-2803